



～庄内産ワインの技術向上・認知度拡大に向けて～ 醸造・栽培技術を学び、産地のブランド化を考える研修会を開催

庄内総合支庁では、庄内産ワインの振興を図るためにワイン事業者、JA、行政等による「庄内産ワイン振興プロジェクト会議」（事務局：庄内総合支庁地域産業経済課）を設置し、醸造用ぶどうの生産技術やワイン醸造技術の確立、産地のブランド力強化に向けた取組みを展開しています。

この度、庄内産ワインの醸造技術等のさらなる向上に向けて、研修会を開催することとしましたので、当日の取材についてよろしくお願いたします。

1 研修会の概要

(1) 講演

①日 時

令和7年2月20日(木) 午後3時から4時30分まで

②場 所

グランドエル・サン ローブルーム（鶴岡市東原町17-7）

③内 容

講演「産地のブランド力強化と気候変動に対応した栽培・醸造技術に関して
～庄内産ワインの未来のために～」

講師 こばやしひろのりメルシヤン株式会社シャトー・メルシヤン工場長兼事業本部副部長 小林弘憲 氏

「日本を世界の銘醸地に」をテーマにワイン作りに取り組むシャトー・メルシヤンの工場長。ボルドー大学で研修を受け、オーストラリア等で醸造技術を学ぶ。また、自身が計画・建設に携わったまりこ椀子ワイナリー（長野県上田市）は、ワインツーリズムに取り組むワイナリーを選出する「ワールド・ベスト・ヴィンヤード」というアワードで、5年連続ベスト100ワイナリーに選出されている。

(2) 醸造施設等の視察

①日 時

令和7年2月21日(金) 午前10時から正午まで

②内 容

講師及び参加者による醸造施設等の視察・意見交換

時間	場所
10:00~10:35	月山ワイン山ぶどう研究所 ワイン貯蔵庫 (鶴岡市越中山名平3-1)
11:25~12:00	ピノ・コッリーナ ワイナリー (鶴岡市羽黒町松ヶ岡156-2)

2 参加者

庄内産ワイン振興プロジェクト会議構成員、醸造用ぶどう栽培に取り組んでいる生産者等
計30名程度

3 主催

庄内産ワイン振興プロジェクト会議

構成：有識者、ワイン事業者、JA、2市3町、県工業技術センター、庄内総合支庁

会長：村山秀樹山形大学副学長